

様式第6号の2 (その2)

2 指導計画の大綱

	重点方針	具体的方策
教科	<p>(1)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎的・基本的な学力の定着を図る。 2 自ら学ぶ態度を育成し、主体的に生き抜く力を養成するとともに、進路希望の実現に資する学力を養成する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 教科書を中心とした学習内容の定着を確認しながら授業を展開し、教科ごとの基本的な見方や考え方を体得させるとともに、放課後等に個別指導や補習等を展開する。 予習復習の徹底と家庭学習の習慣化を図るため、家庭学習課題を設定し、基礎学力の定着と向上を目指す。 2 ICTの活用やその他の工夫をとおして、生徒が興味関心を持ち、主体的・協働的に学習に取り組めるよう授業の改善・実践に努める。 学習評価を通じて学習指導の在り方を見直し、生徒が自己の特性や学習進度、興味関心、進路希望等に応じて学ぶことができるよう、生徒一人ひとりに応じたきめ細かな学習指導、計画的な履修指導の充実を図る。
総合的な探究の時間	<ol style="list-style-type: none"> 1 課題の発見と解決に必要な知識及び技術を身に付けさせ、探究の意義を理解させることで、志を立てて目標に向かって挑戦し続ける人材を育成する。 2 地域社会と自己との関わりから問いを見だし、自ら課題を立て、情報収集・分析・発表できる力を育成する。 3 探究に主体的に取り組むとともに、お互いのよさを生かしながら、多様な他者と協働して問題を解決・克服しようとする生徒を育てる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 横断的・総合的な学習とキャリア教育の視点から、地域課題と自らの在り方・生き方を関連付けて考えさせる。 2 行政や地元企業との連携によって地域社会の課題を発見させ、その課題をICT等を活用して情報収集・分析・発表することができるよう指導する。 3 探究活動を通じて、生徒一人ひとりが考え方の異なる生徒同士や地域の人々、専門家などの多様な人々と協働し、よりよい学びにつなげていく。
特別活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒による自主的な運営を図るとともに、生徒が積極的に参加できる生徒会活動を目指す。 2 地域社会との連携のもと、社会に貢献する姿勢を身に付けさせる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒会やHRに積極的に参加できる環境を整え、登録生徒が継続して部活動に取り組めるよう指導を工夫する。 体育祭や球技大会における競技や応援を通じてクラスの団結を図るとともに、前向きにものごとに取り組む姿勢を育成する。 2 県立幼稚園や県立大学との交流、地域行事への参加、ボランティア活動などをとおして、地域社会の中での自己の生き方・在り方について考えさせる。
道徳教育	<ol style="list-style-type: none"> 1 豊かな心をはぐくみ、生命に対する畏敬の念を培うとともに、社会性と規範意識を育てる。 2 地域の伝統や文化を理解し、社会の発展に貢献できる資質や意欲を養う。 3 自らの在り方や生き方を主体的に考え、自己実現を図る力を育てる。 	<p><1年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立させる。 ・自尊感情を育成し、高める。 ・集団の中での規範意識とマナーを身に付けさせる。 <p><2年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい人間関係を築く力を養う。 ・自分を律することができる意思を育てる。 ・他者と共同して行う活動を通じてコミュニケーション能力や他者理解の能力を高める。 <p><3年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解をさらに深めさせる。 ・望ましい社会性や価値を理解し、自己実現を図らせる。
生徒指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会で通用する礼節を身につけさせる。 2 おもいやりと、人に関わる力を持った自立できる生徒を育成する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 頭髪指導を活用し、基本的な生活習慣を確立するとともに規範意識を醸成する。 集会やLHRをとおして新潟北高校の一員としての自覚を促すとともに、事例をとおして問題行動に対する責任や自己実現等について指導する。 2 カウンセリングマインドを持ち、生徒の立場に立った指導をする。 いじめに対する組織的対応を徹底するとともに、いじめアンケートを月1回実施し、「いじめ見逃し」の0を目指す。 スクールカウンセラーの活用等、教育相談をより一層充実させる。 同和教育・人権教育における教員の指導力を高めるために、具体的な指導計画を策定し、指導資料の充実を図る。
進路指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒個々の持っている長所・能力を最大限伸ばすことで生徒自身が自らの可能性に挑戦し、進路希望を実現できるよう、キャリア教育を推進する。 2 進路意識の啓発に努め、進路を適正に選択できるよう自覚させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 総合的な探究の時間、外部講師による講演、インターシップ、体験的な学習等をとおして、キャリア教育の充実を図る。 各種検定・資格試験、模擬試験の受検を推進するとともに、学年・教科を横断して面接指導・小論文指導を充実させる。 2 時宜にかなった進路情報を、学年だよりをとおして生徒及び保護者に提供する。 個人面談を年間をとおして1人2回以上行い、進路希望や適性の把握に努めるとともに、個別の指導を充実させる。
自立活動		